

# 育成牛の発育調査と推奨発育値

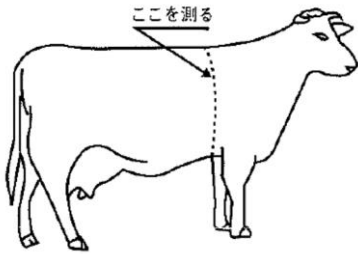
## 成長目標 (target growth) の考え方

育成牛の発育は、**22~24ヶ月齢**をターゲットに初産分娩を迎えることが、育成にかかるコスト、生涯生乳生産のバランスが最も良いとされている。管理施設と労働、粗飼料品質や飼養環境を考慮した中で初産分娩月齢の目標値を設定し、そこに合わせた成長目標値（体重・体高）を決定する。ここでは、育成期間の発育を評価するための発育調査の方法と、最新の推奨発育値を紹介する。

## 発育調査の方法

体重・・・乳牛用体重推定尺を用い、胸囲から推定する。

体高・・・簡易体高測定器を用いて、き甲部頂点から地面までの垂直距離を測定する。



測定する部位

(出典：富士平工業株式会社説明書)



体重測定（推定尺を使用）



体高測定

(出典：酪農ジャーナル電子版【酪農 PLUS+】)

## 育成牛の受胎および分娩時の目標体重（参考：NASEM2021）

乳牛の成長における目標体重(BW)、月齢、平均日増体(ADG kg/日)

	目標値 (kg 月齢)	成熟時体重に 対する割合
成熟時BW	700	100
出生時BW	42	6
離乳時BW	84	12
受胎時BW	385	55
初産分娩時BW	638	91
初産分娩後BW	574	82
2産分娩後BW	644	92
<b>受胎月齢</b>	<b>13~14</b>	
初産分娩月齢	22~23	
春機発動前ADG	0.90	0.13
春機発動後ADG	0.69	0.10
春機発動後ADG+妊娠	0.92	0.13
初産次泌乳期間ADG	0.19	0.027
2産次泌乳期間ADG	0.15	0.022

NASEM2021 (IBNRC)

### 春機発動とは

繁殖活動への準備が始まる時期を「春機発動」といい、発情が確認されます(8ヶ月齢頃から)。何度かの発情を経て、繁殖活動の準備が完了した時期を「性成熟」といいます。

ホルスタイン種雌牛の奨励発育値（一般社団法人日本ホルスタイン登録協会）

ホルスタイン種 雌牛発育調査

調査農場

調査日

